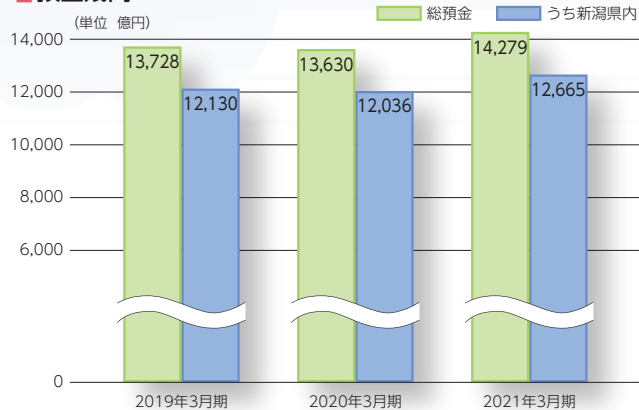


2021年3月期決算の概要

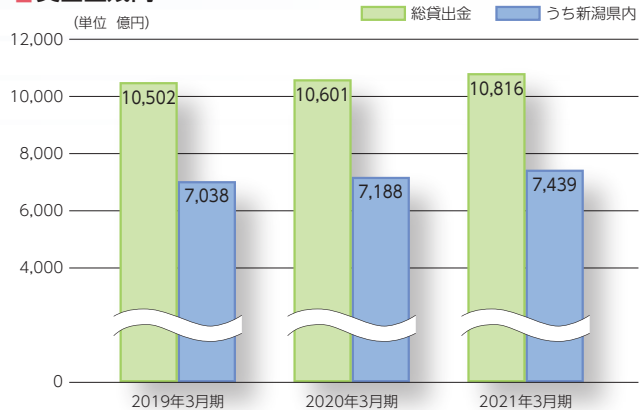
預金残高



預金等残高（含む譲渡性預金）は、個人預金および法人預金の増加により前年同期比649億円増加の1兆4,279億円となりました。

新潟県内預金等残高は1兆2,665億円、県内預金比率は88%です。

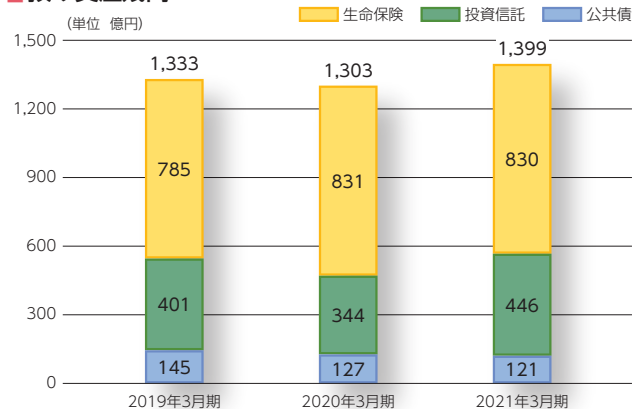
貸出金残高



貸出金残高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた事業者に対する資金繰り支援に積極的に取り組み、中小企業向け貸出が増加したほか、ローン相談拠点の増設効果などにより個人向け貸出が増加し、前年同期比215億円増加の1兆816億円となりました。

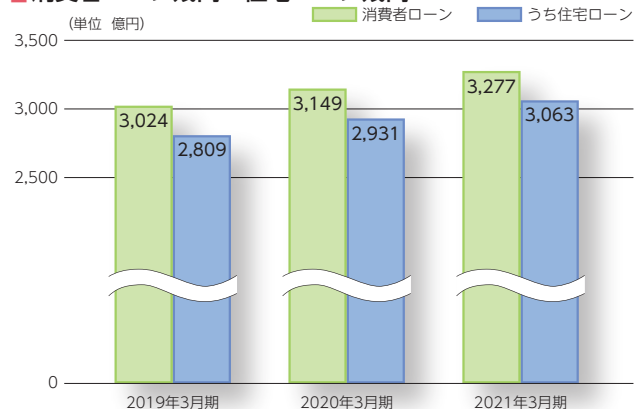
新潟県内貸出金残高は7,439億円、県内貸出金比率は68%です。

預り資産残高



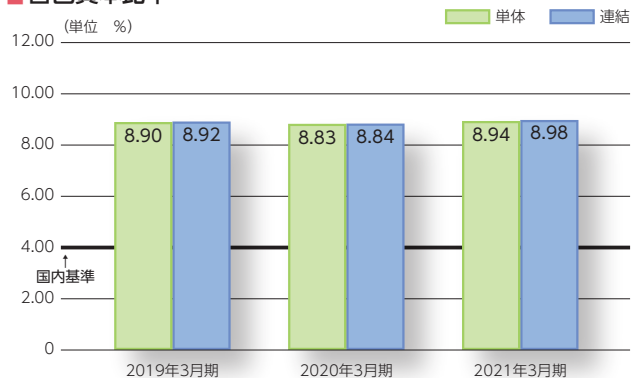
預り資産残高は、マーケット環境に加え、営業態勢の強化により投資信託が増加したため、前年同期比96億円増加の1,399億円となりました。

消費者ローン残高・住宅ローン残高



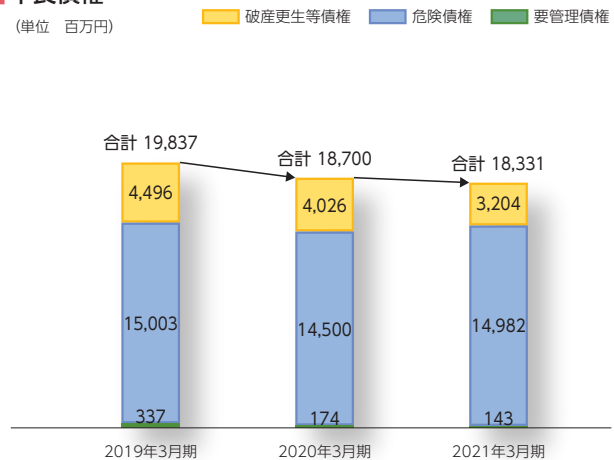
消費者ローン残高は、住宅ローンを中心に前年同期比128億円増加し、3,277億円となりました。

自己資本比率



自己資本比率は、単体が8.94%、連結が8.98%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。

不良債権



不良債権比率 1.87% → 1.74% → 1.67%

金融再生法に基づく開示債権額は、前年同期比4億円減少の183億円で、総与信額に占める割合は1.67%となりました。

自己資本比率とは

貸出金や有価証券などの総資産（リスクアセット）に対する自己資本（資本金・内部留保など）の割合を示すもので、高いほど健全といえます。当行のように国内業務のみを営む銀行は4%以上を維持することが義務付けられています。

■ 損益

(単位 百万円)

	2021年3月期	2020年3月期	増減
業務粗利益	15,326	15,117	209
(資金利益)	(14,465)	(15,005)	(▲ 540)
(役員取引等利益)	(729)	(614)	(115)
(国債等債券関係損益)	(83)	(▲ 506)	(589)
経費	12,608	12,960	▲ 352
一般貸倒引当金繰入額	278	233	45
業務純益	2,439	1,924	515
(コア業務純益)	(2,634)	(2,663)	(▲ 29)
不良債権処理額	690	1,560	▲ 870
株式等関係損益	647	2,105	▲ 1,458
経常利益	2,512	2,587	▲ 75
当期純利益	1,550	1,131	419

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券関係損益}$$

<前年同期との比較>

■ コア業務純益

役員取引等利益の増加や経費の減少があったものの、資金利益の減少などにより、前年同期比で29百万円の減益となりました。

■ 経常利益

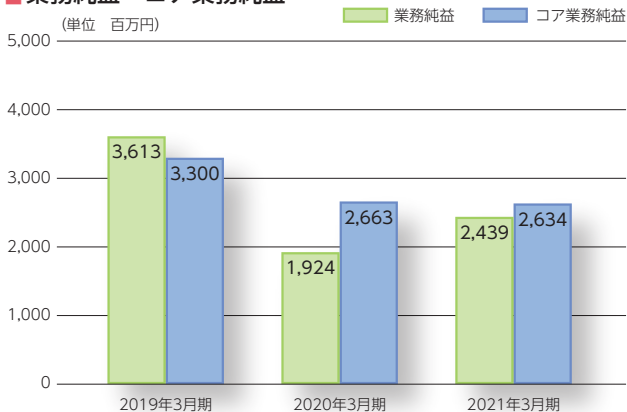
不良債権処理額の減少があったものの、株式等関係損益の減少などにより、前年同期比で75百万円の減益となりました。

■ 当期純利益

特別損失の減少などにより、前年同期比で4億19百万円の増益となりました。

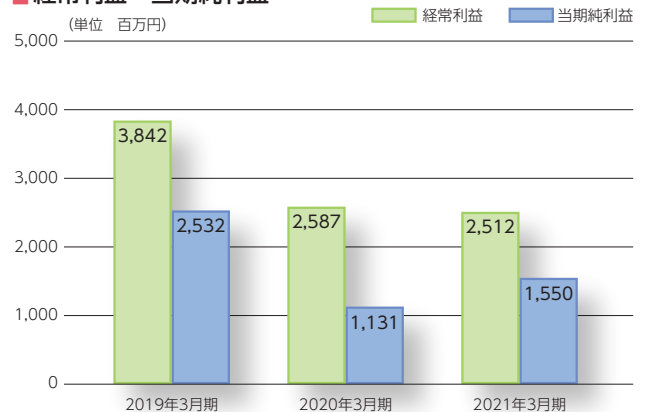
■ 業務純益・コア業務純益

(単位 百万円)



■ 経常利益・当期純利益

(単位 百万円)



■ 有価証券の評価損益

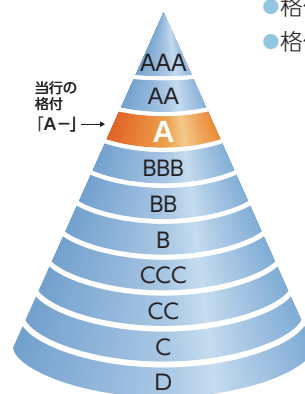
(単位 百万円)

	2021年3月期	2020年3月期	増減
満期保有目的	▲ 214	▲ 76	▲ 138
その他有価証券	7,206	444	6,762
株式	4,789	3,410	1,379
債券	1,050	2,165	▲ 1,115
その他	1,366	▲ 5,131	6,497
合計	6,991	367	6,624

有価証券全体の評価損益は69億91百万円となり、前年同期比66億24百万円増加しました。

■ 格付

株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しています。



- 格付:「A-」(シングルAマイナス)
- 格付の種類:長期発行体格付

※長期発行体格付とは、債務者(発行体)の債務全体を捉えて、その債務履行能力を評価したものをいいます。

※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして「+」もしくは「-」の符号による区分があります。